

学校教育目標	「自らがやく子<自立> とともにかがやく子<共生>」 ～自己を高め、環境(ひと・まち・自然)とかかわりながら共に生きようとする子を育てる ○心と体をすこやかに育み、自分の生き方と生活をつくり出す子 ○自立心を持ち、学習や活動に主体的に取り組む子 ○共に生きることを目指して、ひとや自然を大切に育む子 ○地域で学び、地域の一員として自分のできることを実践する子					
	学校概要	創立 55 周年	学校長 橋口 三幸	副校長 藤野 一成	2 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 3
児童生徒数: 729 人		主な関係校: 上の宮中学校, 獅子ヶ谷小学校, 菊名小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	上の宮中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>&lt;自分から進んでチャレンジする力&gt; &lt;自他の違いを認め共に高め合う力&gt; &lt;かかわりを大切にし解決できる力&gt;</p>	<p>上の宮中 馬場小学校 獅子ヶ谷小学校 菊名小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の可能性を信じ、何事にも全力で取り組む子ども</li> <li>・自分の夢を情熱をもって語る子ども</li> <li>・人とかかわりを大切に、他を思いやる気持ちのある子ども</li> </ul> <p>【5月】授業研究会(上の宮中授業参観)／連携協力検討会 【8月】小中ブロック合同研修会(課題研究会)／連携協力検討会 【9月】授業研究会(馬場小授業参観) 【10月】小中交流日(授業見学・学校説明・部活動紹介) 【2月】情報交換会</p>

中期取組目標	<p>○児童一人ひとりが、自分だけでなく、周りとかかわりを大切にしながら共に生きようとする子どもを育てる。 ・教科の楽しさや知的好奇心の幅を広げ、主体的に学ぼうとする子どもを育てる。 ・自己肯定感を高め、自分以外の人や地域とかかわりを大事にしようとする子どもを育てる。 ・安全、安心な学校生活が送れるように、体力の保持増進や心身の健康を保てる子どもを育てる。 ・多様な交流活動、グループ学習を充実させ、対話を充実させた豊かな人間関係が築ける子どもを育てる。 ・人権教育を充実させ、人の心の痛みがわかる子どもを育てる。</p>
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<p><b>知</b> 生きて働く知</p> <p>担当 評価委員会</p>	<p>○どの子どももわかる楽しさを味わえる授業づくりを目指し、授業実践を重ねながら指導の改善を推進する。 ○認め合いの場をさらに取り入れることで、主体的・対話的学びを深められるようにする。 ○少人数・TT・取り出しなど授業形態を工夫し、基礎・基本の定着を図る。</p>
<p><b>徳</b> 豊かな心</p> <p>担当 人権教育・道徳教育推進担当</p>	<p>○人とのつながりの中で、自他を大切にできる人権感覚を育む場を設定する。 ○多様な交流活動を通して、互いを理解し、対話を充実した人間関係を築けるようにする。 ○道徳の教材研究の時間を設定し、本校児童の実態を踏まえた授業作りが行えるようにする。</p>
<p><b>体</b> 健やかな体</p> <p>担当 体育・食育・養護</p>	<p>○健康や安全を踏まえた活動を立案し、休み時間を利用して体力向上に取り組む。 ○食育の充実と規則正しい生活習慣の推進を通して、体と心の安定を図る。 ○系統性を意識した体育科カリキュラムを組み、児童の力を伸ばす。</p>
<p><b>公開</b> 地域・保護者連携 学校運営協議会</p> <p>担当 保護者・地域連携担当</p>	<p>○保護者や地域の方とかかわり合える教育活動を推進し、継続して地域の教育力を生かせるようにする。 ○保護者が安心できるよう、授業公開等の手立てを検討し、情報発信の充実に努める。 ○学校運営協議会を通して、保護者・地域と連携した取組の理解を図り、開かれた学校づくりを目指す。</p>
<p><b>いじめへの対応</b></p> <p>担当 いじめ防止対策委員会・児童指導委員会</p>	<p>○早期発見、早期解決ができるよう、常に真摯な姿勢で話を聴くことを心掛ける。また、児童の「声なき声」を察知できるよう、日頃の健康観察やアンケート、教育相談等を意図的に行っていく。 ○いじめの起きにくい風土をつくれるよう、校内の環境整備や教職員の人権意識を高める。</p>
<p><b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b></p> <p>担当 教務部・メンター研担当</p>	<p>○教職員同士話し合う場を大切に、どの年代でも相談しながら組織で動く職場をつくる。 ○授業力向上に向けた各教科の研修や学年研、メンター研を通して、指導力の向上を図る。 ○学校経営計画や運営組織の改善を通して、役割の適正化や業務の効率化を図る。</p>
<p><b>特別支援教育</b></p> <p>担当 特別支援・児童指導委員会</p>	<p>○教科学習の支援だけでなく、視知覚やコミュニケーションに関するトレーニングを行い、多方面から児童支援を行えるよう、教材の充実や発達特性の理解を深める。 ○特別支援教育コーディネーターを中心に、校内の特別支援教育推進を行う。</p>
<p><b>児童生徒指導</b></p> <p>担当 特別支援・児童指導委員会</p>	<p>○児童理解を深めるために、SCやSSW、医療機関等、外部機関との連携を積極的に行う。 ○学校内外の諸問題の解決につなげるために、教職員間で事案や指導事項を確実に共有し一貫した指導を行ったり解決策を考えたりする。また教職員だけでなく、児童や保護者との話し合いを積み重ねていく。</p>
<p><b>一部教科担任制</b></p> <p>担当 教務部・チーム学年経営担当</p>	<p>○教師の専門性を生かした魅力ある授業を行うことで、知的好奇心を高め、学習内容の定着を目指す。 ○情報を共有し、複数の教師で指導にあたることで、児童一人一人のよさを生かしていく。 ○教材研究の時間の確保と担任の負担軽減を図り、授業力向上と学級経営の充実につなげていく。</p>
<p><b>環境を考える学習</b></p> <p>担当 重点研究部・環境委員会</p>	<p>○生活科・総合的な学習の時間を活かして、地域や周りの環境に目を向けるとともに、かかわりをもとうとする取り組みを増やしていく。 ○ビオトープなどの環境を整えていくことで、周りの環境を大切に守っていきこうとする意識を高めていく。</p>